

地域福祉ブロック別懇談会について

10月8日、9日、10日の3日間、「支えあい・助けあい活動」というテーマで地域福祉ブロック別懇談会を開催しました。

《参加者》 自治区長さん、民生委員・児童委員さん、福祉委員さん（協力員等含む）、
地区の自主防災組織のメンバーさん・消防団員さん、赤十字奉仕団員さん

《内 容》①社協より

- ・第3期竜王町地域福祉活動計画について（抜粋）
- ・近助事業と見守り活動の推進、近助事業の提案

②取組み事例の紹介

- ・美松台「災害時要援護者支援システム」について（10/8）
- ・「近助事業」での見守り活動～暮らしの助けあい活動について（10/9、10/10）

③意見交換

- ・災害に備えた日頃の地域づくり、地区の災害時要配慮者の把握と対応について
- ・近助事業の取組みを通じた日頃の見守り活動～暮らしの助けあいについて



災害を見据えた日頃の「近助」体制づくりについて ～各地区の取組み状況～

（災害時要配慮者を中心に、その支援者を決め、日頃の見守り声かけ活動を行う仕組みづくり）

| 地区の取組み状況 | 地区数 | まとめ |
|-----------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------|
| 体制があり活動している。 | 9 | ・仕組みがある地区では、要配慮者に3人程度の支援者を設定する体制や、班をベースに要配慮者を中心とした体制を構築され、地区の状況（特性）に合わせた形があります。 |
| 現在体制づくりに向けて取組んでいる。 | 5 | |
| 自主防災の組織はあるが、日頃の活動はない。 | 2 | ・現在体制づくりに取組んでいる地区では、住民アンケートを実施するなど、地区住民の意見を聞きながら、その地区に合った体制づくりを進められています。 |
| 要配慮者を把握している。（災害時要配慮者台帳の管理を含む）体制はない。 | 4 | |
| 体制はないが、住民同士の見守り声かけや助けあいがある。地区の住民がお互いを知り合っている。 | 8 | ・体制づくりが困難と感じておられる地区でも、災害時の支援体制の必要性を感じておられます。 |
| 体制はなく、民生児童委員を中心に要配慮者の把握や見守り声かけ活動を行う。 | 3 | |
| 世帯把握や体制づくりが困難な状況 | 1 | ★体制の有無にかかわらず、地区の要配慮者を把握されていたり、近所同士で見守り声かけ活動をしたりする地区がほとんどであることが見えました。 |

* 災害を見据えた日頃の「近助」体制づくりの各地区の取組み状況について、ブロック別懇談会での事前アンケートを参考とし、意見交換時の各出席者からのお話を基に整理しています。

近助事業は、災害時特に支援を必要とする人たちを、災害時はもちろん平時にも安心して暮らせるように、文字通り近所同士の助け合いで支え合おうというものです。この体制に、自主防災・消防団・日赤奉仕団等の方たちが関わり合うことで、災害時の住民同士の助け合いがより一層安心できるものとなります。

その意味も踏まえ、今回の参加者の設定をさせて頂きました。

たくさんのご参加と皆さんの災害時支援に対する意識の高さに感銘を受けました。さらに安心した地域づくりに向け、出席者みなさんが、お互いに活力を得ていただくことができました。

意見交換ではこんなご意見がありました。

災害に備えた日頃の地域づくり、地区の災害時要配慮者の把握と対応についていかがですか？



災害支援に関する意識は持っている。また、住民の皆にも意識を持ってもらわないといけない。役をしている時は意識が高いが、1年で交代であるため（仕組づくりなどの）実行ができない。継続できる組織づくりが必要だと感じた。



区の役員は1年任期しかないので、支援のシステムとして申し送っていく形にしないといけない。

自主防災組織が、実際機能するように見直す。今までは、防災訓練のための自主防災組織になっていた。自主防災組織とどう絡めていくかが課題。

平常時から防災に対する啓発をしていかないといけない。人員配置を考慮して台帳を作成し、有資格者などが力を発揮できるような形を作った。



各戸の世帯票を作成しようと思うが、個人情報の保護のことが懸念されて回収率が低いことが予想され心配していたが、アンケートを配ってみると98%の回収率となり、皆助けてほしいと思っていたことを実感した。

はじめは家族がいる家の世帯カードへの登録などは要らないと思っていたが、この前の様に竜巻などがあるとやはり全戸の登録が必要だと感じた。

近助事業の取組みを通じた日頃の見守り活動～暮らしの助けあいについてはいかがでしょう？



「つながりをもつ」とことと「あいさつをする」ということを大きなテーマとして取組みを進めている。すべての取組みはこれが基盤と考えている。



（若い世代は）昼間勤めているため、誰が残っているか組織図を作るところ。

子どもたちへの有事の対応についても実施している。日頃は、LINEを活用して小学生の親でグループを持ち、雷雨時は迎えに行けるメンバーを募るなどしている。対応後もLINEで報告し合う。



消防団では、回覧板を作成しているが年々発行回数が減ってきた。今回参加して今後も啓発活動や見守り活動をしていかないといけないと思った。

社協のホームページへ、意見交換でのご出席の皆さんのご意見をまとめていますので、是非ご覧ください。

＼社協のホームページへの掲載始めます／

各地区（自治会・社協・福祉委員会等）で作成された『広報誌』、福祉委員会等の『福祉だより』『ふくし通信』『地域の活動紹介』など

- ①掲載しようと思う『広報誌』や『たより』の印刷物を社協へ持参、または、パソコンのデータをメールで社協へ送付ください。
- ②社協で、各地区の『広報誌』や『たより』をPDF化してホームページにアップします。



* ホームページの閲覧方法については、この「ふくしだより」の裏表紙をご覧ください（'） /
* Line@からも情報提供していますのでお友達登録してくださいね。

1. 社協のホームページを開く。

- ① 竜王町社協 で検索。
または、右の QR コードを読み込んでログインする。

⇒⇒⇒



2. 閲覧しようと思うページを開く。

- ② 画面左側にあるメニューの中から
「福祉委員会～小地域福祉ネット
ワーク～」をクリック。



| |
|------------------------|
| お知らせ |
| 広報「ふくしりゅうおう」 |
| 定款・事業計画・報告 |
| 竜王町地域福祉活動計画 |
| いつまでも元気クラブ（鶴川・弓削・鏡プラザ） |
| 福祉委員会～小地域福祉ネットワーク～ |
| りゅうおうちょう こどもひろば |



- ③ 閲覧しようと思う項目にカーソルを合わせてクリック。

HOME > 福祉委員会～小地域福祉ネットワーク～

| |
|------------------------|
| お知らせ |
| 広報「ふくしりゅうおう」 |
| 定款・事業計画・報告 |
| 竜王町地域福祉活動計画 |
| いつまでも元気クラブ（鶴川・弓削・鏡プラザ） |
| 福祉委員会～小地域福祉ネットワーク～ |
| りゅうおうちょう こども |

福祉委員会～小地域福祉ネットワーク～

- コミュニティカフェパンフレットのお知らせ
- 「ふくしだより」（平成31年4月発行）について
- 福祉委員会活動について

コミュニティカフェパンフレットのお知らせ

今回各地区のコミュニティカフェを訪問し、担い手さんや参加者の方とお話をさせていただいて活動内容を一つの冊子にまとめました。みんなが気軽に立ち寄れるコミュニティカフェを地区ごとに掲載しましたのでご覧いただくと幸いです。

資料：地域のえんがわ「竜王町のコミュニティカフェ」紹介冊子.pdf

最新の記事

- 12月の心配ごと相談所の日程について
- いつまでも元気クラブ（生涯現役事業）12月の予定です。
- 求人のお知らせ（急募！）
- しが住民参加支援会活動連絡会について
- アドバイザー派遣事業について

- こ**
- 『福祉の町づくり運動推進地区助成金 事業実績報告』
・・・2月に関係書類を福祉委員様宛に送付させていただきます。
3月中に書類提出をお願いする予定です。
 - 物品貸出・・・随時予約受付しています。
地域のサロンやイベントを盛り上げるレクリエーション用品やイベント用品（綿菓子機・ポップコーン機・かき氷機など）を無料で貸出しています。
ぜひご利用ください。
 - 社協の常設展示・・・町公民館のフレンドマート側の入り口付近に社協の常設展示を設置させていただいています。近くにお立ち寄りの際にご覧頂けたら幸いです。



社会福祉法人 竜王町社会福祉協議会

【住所】〒520-2552 蒲生郡竜王町小口4-1（福祉ステーション2階）

【電話・有線】58-1475

【ファックス】58-3739

【E-mail】ryu-shakyo@rmc.ne.jp

【ホームページ】「竜王町社協」で検索



社協のLINE@
QRコード
友だち登録
お願いします



令和元年12月発行
Vol. 9



《令和元年
11月9日》

令和元年度竜王町社会福祉大会

「おたがいさんのまちづくり」

社協の広報誌「福祉
りゅうおう」2月号
もご覧ください！

内 容：＜第1部＞式典
竜王町社会福祉協議会会長表彰・感謝状贈呈等

＜休 憩・展示見学＞

地域のコミュニティカフェ有志による珈琲サービス
交電フロア

岡屋、西川、小口から有志のご協力
ありがとうございました！！

＜第2部＞

テーマ：『ご近所さんはご近助さん』

- 内 容：①公開マップづくり（寸劇）
②事例発表（西川自治会）「地域支えあいしくみづくり」
③今後の展開「近助事業と日常の見守り・生活支援」

◇コーディネーター：吉村 了子氏（住民生活福祉総合研究所 研究員）

◇寸 劇 出 演 者：地域住民の方、社協職員

◇事例発表者：西川自治会から、4名の方

展 示：地域の福祉活動・ボランティア活動・プチどら★にこにこプロジェクト
いつまでも元気クラブ（生涯現役事業）・いきいき趣味活動の作品
社協事業・赤い羽根共同募金コンクール作品



地域の方々などたくさんボランティアの方々のご協力を得て開催することができました。
また、当日はたくさんの方にご来場いただき、本当にありがとうございました。



第2部『ご近所さんはご近助さん』概要

- 社協では** □災害を見据えた日頃の「近助」体制づくりを、地域の福祉活動のひとつとして推進しています。第3期竜王町地域福祉活動計画にも位置付けています。
- 支えあい
マップ
づくり** □特に、災害時に避難や情報取得等が困難となりやすい災害時要配慮者を中心に考え、地区内のどの辺りにこういった（配慮が必要な）世帯があるか、その世帯に対する世話焼きさんはどこの誰かなどを地図にマーキングして、可視化します。
[公開マップづくりを寸劇で実施！]
- 地区の
取組事例** □地区の防災組織をベースとして災害時の支援体制づくりを、並行して身近な人で日常の困りごとを助け合えるしくみづくりを進められています。
災害を見据えた近所同士の関わりあいは、日頃の困りごとをご近所で助けあうことにもつながります。
- コーディネーター
の講演** □体制づくりは、災害時要配慮者を中心に考えます。その方たちは日頃の暮らしでも不安や困りごとを抱えられることが往々にして考えられます。
その要配慮者の方たちが、『助けられ上手さん』になることも重要です。周り（近所）の人に悩みを打ち明けたり、人に尽くしたりすることで、自然と助けあいが生まれ、本当に困った時に「助けてほしい」と言いやすい関係づくりが進みます。

